

京都大学大学院教育学研究科
 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM
学力評価スペシャリスト研修
第1回 フォローアップ研修
A. 教科の本質を追求する単元設計

2017年10月21日
 京都大学 西岡加名恵

1. 「逆向き設計」論

求められている結果(目標)を明確にする (修了時をイメージする)

承認できる証拠(評価方法)を決定する (指導の前に評価方法を計画する)

学習経験と指導を計画する

◎「理解の6側面」

- ・説明する
- ・解釈する
- ・応用する
- ・パースペクティブ(俯瞰)を持つ
- ・共感する
- ・自己認識を持つ

◎「真正の評価」論
 現実世界において人が知識や能力を試される状況を模写したりシミュレーションしたりしつつ評価することを主張するもの

(G・ウィギンズ&J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計』日本標準、2012年)

(1) 「知の構造」と評価方法・評価基準

「本質的な問い」

原理や一般化

永続的理解

パフォーマンス課題 (ルーブリック)

転移可能な概念

重大な観念

複雑なプロセス

筆記テスト (チェックリスト)

事実に知識

事実に知識

個別的技能

個別的技能

実技テスト

(西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計——パフォーマンス評価をどう活かすか』図書文化、2016年、p.82. McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p.65の図や、Erickson, H.L., *Stirring the Head, Heart, and Soul*, 3rd Ed. Corwin Press, 2008, p.31の図をもとに作成。G・ウィギンズ/J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計——「逆向き設計」の理論と方法』日本標準、2012年も参照)

(2) 学力評価の方法

単純

筆記

ポートフォリオ評価法

実演

パフォーマンス評価

複雑

選択回答式(多肢選択式)の問題

- ・多肢選択問題
- ・正誤問題
- ・順序問題
- ・組み合わせ問題
- ・穴埋め問題(単語・句)

活動の要素の点検項目

- ・発問への応答
- ・活動の観察

自由記述式の問題

- 短答問題(文章・図表・図表など)
- ・知識を与えて推論させる問題
- ・作問法
- ・認知的葛藤法
- ・予測-観察-説明(POE)法
- ・概念マップ法、ベン図法
- ・運籌法
- ・描画法

実技テストの項目

- ・検討会、面接、口頭試問
- ・短文の朗読
- ・実験器具の操作
- ・運指練習
- ・運動技能の実演

パフォーマンス課題

- ・エッセイ、小論文、論説文
- ・研究レポート、研究論文
- ・実験レポート、観察記録
- ・物語、脚本、詩、曲、絵画
- ・歴史新聞

プロジェクト

- ・朗読、口頭発表、プレゼンテーション
- ・グループでの話し合い、ディベート
- ・実験の計画・実施・報告
- ・演劇、ダンス、曲の演奏、彫刻
- ・スポーツの試合

(西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計』図書文化、2016年、p.83参照)

(3) パフォーマンス評価とは・・・

- 知識やスキルを使いこなす(活用・応用・総合する)ことを求めるような評価方法(問題や課題)
← 学力観の転換

(4) パフォーマンス課題とは・・・

- **様々な**知識やスキルを**総合して**使いこなすことを求めるような、**複雑な**課題。
- 具体的には、論説文やレポート、展示物といった**完成作品(プロダクト)**や、スピーチやプレゼンテーション、実験の実施といった**実演(狭義のパフォーマンス)**を評価する課題。

(5) パフォーマンス課題のメリット

- 教科の中核に位置する重要な目標に対応する指導
→ 「各教科等の特質に応じた『見方・考え方』」
(2017・2018年改訂学習指導要領)
- 長期的な見通しのもとでの指導
- 応用を見通しつつ、基礎を身に付けさせる
- 多面的で個性豊かな表現
- 子どもたちにとっての学習の意義、楽しさ、熱中
- 「問う力」を身に付ける → 探究力

(6) 単元設計 テンプレート (参考書式)

単元設計 テンプレート (参考書式)	
1 単元 概要 名	
2 単元 概要 内容	
3 単元 概要 評価	
4 単元 概要 評価	
5 単元 概要 評価	
6 単元 概要 評価	
7 単元 概要 評価	
8 単元 概要 評価	
9 単元 概要 評価	
10 単元 概要 評価	
11 単元 概要 評価	
12 単元 概要 評価	
13 単元 概要 評価	
14 単元 概要 評価	
15 単元 概要 評価	
16 単元 概要 評価	
17 単元 概要 評価	
18 単元 概要 評価	
19 単元 概要 評価	
20 単元 概要 評価	
21 単元 概要 評価	
22 単元 概要 評価	
23 単元 概要 評価	
24 単元 概要 評価	
25 単元 概要 評価	
26 単元 概要 評価	
27 単元 概要 評価	
28 単元 概要 評価	
29 単元 概要 評価	
30 単元 概要 評価	
31 単元 概要 評価	
32 単元 概要 評価	
33 単元 概要 評価	
34 単元 概要 評価	
35 単元 概要 評価	
36 単元 概要 評価	
37 単元 概要 評価	
38 単元 概要 評価	
39 単元 概要 評価	
40 単元 概要 評価	
41 単元 概要 評価	
42 単元 概要 評価	
43 単元 概要 評価	
44 単元 概要 評価	
45 単元 概要 評価	
46 単元 概要 評価	
47 単元 概要 評価	
48 単元 概要 評価	
49 単元 概要 評価	
50 単元 概要 評価	
51 単元 概要 評価	
52 単元 概要 評価	
53 単元 概要 評価	
54 単元 概要 評価	
55 単元 概要 評価	
56 単元 概要 評価	
57 単元 概要 評価	
58 単元 概要 評価	
59 単元 概要 評価	
60 単元 概要 評価	
61 単元 概要 評価	
62 単元 概要 評価	
63 単元 概要 評価	
64 単元 概要 評価	
65 単元 概要 評価	
66 単元 概要 評価	
67 単元 概要 評価	
68 単元 概要 評価	
69 単元 概要 評価	
70 単元 概要 評価	
71 単元 概要 評価	
72 単元 概要 評価	
73 単元 概要 評価	
74 単元 概要 評価	
75 単元 概要 評価	
76 単元 概要 評価	
77 単元 概要 評価	
78 単元 概要 評価	
79 単元 概要 評価	
80 単元 概要 評価	
81 単元 概要 評価	
82 単元 概要 評価	
83 単元 概要 評価	
84 単元 概要 評価	
85 単元 概要 評価	
86 単元 概要 評価	
87 単元 概要 評価	
88 単元 概要 評価	
89 単元 概要 評価	
90 単元 概要 評価	
91 単元 概要 評価	
92 単元 概要 評価	
93 単元 概要 評価	
94 単元 概要 評価	
95 単元 概要 評価	
96 単元 概要 評価	
97 単元 概要 評価	
98 単元 概要 評価	
99 単元 概要 評価	
100 単元 概要 評価	

2. パフォーマンス課題の作り方

(1) 「本質的な問い」の特徴

- 単純な一つの答えがない
(論争的、探究を触発、様々な深まり)
- 個々の知識やスキルが総合されていくような問い
- 様々な文脈で活用できるような問い(転移)
- 単元を越えて繰り返し現れるような問い
(再考を促す、転移、カリキュラムの系統性)
- 「だから何なのか？」が見えてくるような問い(学問の中核、生活との関連性など)
- ※ 「どのように～すればよいのか？」
- ※ 「～とは何か？」

◎「問い」の入れ子構造

- ◆ 方法論の問い
- ◆ 概念理解の問い

包括的な「本質的な問い」

単元ごとの「本質的な問い」

授業での主発問
授業での主発問
授業での主発問
授業での主発問

単元ごとの「本質的な問い」

授業での主発問
授業での主発問
授業での主発問
授業での主発問

(3) パフォーマンス課題のシナリオを作る ◎シナリオ作りの6要素 (GRASPS)

- な—何が目的 (Goal) か？
- やん— (子どもが担う) 役割 (Role) は何か？
- だ—誰が相手 (Audience) か？
- アア
- そ—想定されている状況 (Situation) は？
- う—生み出すべき完成作品・パフォーマンス (Product, Performance) は？
- か— (評価の) 観点 (Standard, criteria) は？

※必ずしも使わなくてもOKです。

(西岡加名恵編著『「逆向き設計」で確かな学力を保障する』明治図書、2008年。西岡加名恵・田中耕治編著『「活用する力」を育てる授業と評価・中学校』学事出版、2009年)

(2) 「永続的理解」を明文化する

- 「永続的理解 (原理・一般化)」は必ず完全な文 (「～は、～である。」) として書く。
 - × 「明治維新の原因がわかる。」
 - 「明治維新という政治改革の背景には、欧米における市民革命、産業革命とアジアへの進出からの影響、貨幣経済発展を想定していない幕藩体制や年貢制度の矛盾など国内外の様々な要因があった。」
 - × 「速く泳ぐことができる。」
 - 「速く泳ぐためには、引っ張って、押す水の量を最大にするため、手のひらを平らにして泳ぐことが大切である。」

(4) 良いパフォーマンス課題の条件

- ① 妥当性 (validity) :
測りたい学力に対応している。
- ② 真正性 (authenticity) :
リアルな課題になっている。現実世界で試されるような力に対応している。
- ③ レlevance (relevance: 関連性、切実さ) :
生徒たちの身に迫り、やる気を起こさせるような課題である。
- ④ レディネス (readiness) :
生徒たちが少し背伸びをすれば手が届く程度の、ちょうど良い難度。

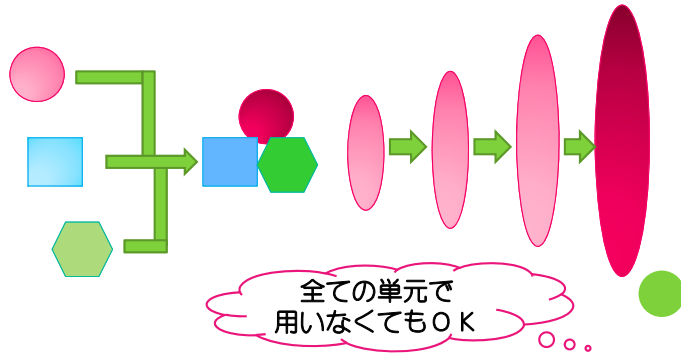
(西岡加名恵「パフォーマンス課題作りのチェックリスト」西岡加名恵・田中耕治編著『「活用する力」を育てる授業と評価・中学校』学事出版、2009年)

3. 単元における指導と学習の計画

(1) 単元内・単元間の構造化

パーツ組み立て型

繰り返し型



(2) 単元内構造化(WHERETO)

- は： はっきりとした見通しを与え(Where)
- ひ： 一人ひとりを惹きつける(Hook)
- ふ： 不安がないよう用意させ(Equip)
- へ： 下手なところは改めさせる(Revise)
- ほ： 本人の自覚を促す自己評価
(Self-Evaluate)
- と： ところで個人差どうするか?(Tailor)
- さ： 最後に全体見渡そう(Organize)

※作品を生み出すのに、十分な時間があるか？

(西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計——パフォーマンス評価をどう活かすか』図書文化、2016年、p.119、McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p.214を踏まえて西岡作成)

(3) 話し合いや発表



(三藤あさみ・西岡加名恵
『パフォーマンス評価にどう取り組むか』日本標準、2010年)

(4) 自己評価力を育てる指導

◎作品批評会



(宮本浩子先生提供。堀哲夫・西岡加名恵『授業と評価をデザインする・理科』日本標準、2010年参照)

4. 交流タイム

(1) チェックポイント

- ① 単元のサイズは適切でしょうか？
- ② 「本質的な問い」は設定できていますか？
- ③ 「永続的理解」は、「本質的な問い」に対する“模範解答”のように書かれていますか？
×「～がわかる」、「～ができる」
- ④ パフォーマンス課題は魅力的で明確ですか？
→「なやんだナ、アアそうか (GRASPS)」の要素は？
- ⑤ パフォーマンス課題は、「本質的な問い」や「永続的理解」と対応していますか？
- ⑥ どのような指導方法が考えられるでしょうか？

◎単元設計テンプレート

2	単元目標	重点目標	知識・技能
		「本質的な問い」 →問いになっているか？ 「永続的理解」 →問いに対する答えになっているか？	→身に付けさせたい 知識・技能を簡条書きに。
3	評価方法	パフォーマンス課題	その他の評価方法
		→シナリオに「目的・役割・相手・想定・作品・観点」の6要素が織り込まれているか？	

< 主要参考文献 >

◎基本的な理論を確認するのにお勧め

- ① 西岡加名恵『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』図書文化、2003年
- ② G.ウィギンズ、J.マクタイ(西岡加名恵訳)『理解をもたらすカリキュラム設計——「逆向き設計」の理論と方法』日本標準、2012年
- ③ 西岡加名恵・石井英真・田中耕治編著『新しい教育評価入門』有斐閣、2015年
- ④ 西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計——パフォーマンス評価をどう活かすか』図書文化、2016年
- ⑤ 田村知子・村川雅弘・吉富芳正・西岡加名恵編著『カリキュラムマネジメント・ハンドブック』ぎょうせい、2016年
- ⑥ 西岡加名恵編著『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価——アクティブ・ラーニングをどう充実させるか』明治図書、2016年

◎実践事例を紹介している本

- ① 宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準、2004年
- ② 西岡加名恵編著『「逆向き設計」で確かな学力を保障する』明治図書、2008年 ～小学校4教科、中学校5教科の実践など。
- ③ 西岡加名恵ほか編著『パフォーマンス評価で生徒の「資質・能力」を育てる』学事出版、2017年 ～京都府立園部高等学校の取り組み

◎職業教育について扱った文献

- ① 西岡加名恵・石井英真・川地亜弥子・北原琢也『教職実践演習ワークブック——ポートフォリオで教師力アップ』ミネルヴァ書房、2013年
- ② 糸賀暢子・元田貴子・西岡加名恵『看護教育のためのパフォーマンス評価——ルーブリック作成からカリキュラム設計へ』医学書院、2017年

◎小学生向けの本

- ① 西岡加名恵監修『アクティブ・ラーニング 調べ学習編——テーマの決め方から情報のまとめ方まで』PHP研究所、2017年
- ② 西岡加名恵監修『アクティブ・ラーニング 学習発表編——新聞づくりからディベート、ワークショップまで』PHP研究所、2017年